

高等学校校長会で募集協力を依頼



新潟地本（本部長 1陸佐 大倉正義）は、6月8日（火）から22日（月）にかけて、新潟県内8地区で行われた高等学校校長会に参加し、募集協力を依頼しました。これは、7月1日からの高校3年生への募集解禁を前に、自衛隊の活動、自衛官の身分、各種採用試験等について概要を説明し、自衛隊を進路・就職先とする有意性についてご理解いただくとともに、受験の呼びかけを行っているものです。



8日魚沼地区校長会を始め、県内各8つの地域において91校の学校長へ説明を行うため、新潟地方協力本部長、副本部長及び募集課長がそれぞれ参加しました。新潟地方協力本部長は、「昨年度、県内高等学校から120名の卒業生が入隊・入校しました。皆、元気に教育訓練、勉学に励んでおります。自衛隊は、多種多様な職種、職域がある自己完結型の組織であり、退職後も地域で活躍できる人材を育てる組織でもあります。生徒の皆さん一人一人に合った進路選択に活用して頂ければ幸いです。今後ともご協力を宜しく願います」と依頼しました。

各校長先生からは、「入隊後の勤務地などは、採用種目によって違うのでしょうか」「各採用試験の倍率はどうなっているのでしょうか」といった質問が出るなど、高い関心と興味が示されていました。

新潟地本は、今後も県内各高等学校の御理解と御協力を得ながら、今年度の募集目標達成に向け邁進していきます。